

2009年7月6日 KFシステムコントローラパック及びKFシステムクリエイター改定

KFシステムコントローラパックを改定いたしました[Ver4.02e⇒Ver4.02f]。今回改定したのは、システムアップグレード用マクロ[Ver1.05⇒Ver1.06](システムアップグレード010.xls)、データ取得更新マクロ[Ver3.17⇒Ver3.18](データ取得更新031.xls)、データ取得マクロ[Ver3.17⇒Ver3.18](データ取得031.xls)の3つのみです。

他のファイルに変更はありませんので、上記3ファイルのみを入れ替えてご使用ください。

なお、データ取得更新マクロにつきましては、無償ダウンロードコーナーでも公開しています。同マクロをご利用中の方は、最新版に差し替えてご使用ください。

また、先日公開いたしましたKFシステムクリエイターVer4.06にバグが見つかりました。これは、パラメータ抽出マクロとシステム復元マクロにおいて、抽出するパラメータを2重に取得していた箇所があったというもので、それらを修正いたしました。

今回の改定はバージョンアップ扱いとはいたしませんので、バージョンはVer4.06のままといたします。お手数ですが、7月1日公開版と差し替えていただきたくお願い申し上げます。

従来のセットアップ済みシステムを最新システムに更新される場合は、最初に配布システムを最新版と差し替えた後、システムアップグレード用マクロを実行してください。

システムアップグレード用マクロの使用方法は従来通りです。詳しくは、コラム・解説ページの2009年4月28日および2009年3月18日の解説をご覧ください。

以前のアップグレード用パラメータファイル(01prmで始まるファイル)が残っている場合は、処理欄を"復"に設定してから「システムUG」ボタンを押すことで、パラメータファイル及びシステムを最新版に更新することができます。

なお、その際、システムの終点はパラメータファイルの終点日に変更されてしまいますので、事前に終点日変更マクロを実行して、パラメータファイルの終点日を直近日に変更しておいてください。

続いてデータ取得更新マクロおよびデータ取得マクロの改定ですが、改定内容はエラー処理の追加のみです。

従来バージョンでは、データ取得時にエラーが生じて処理が停止するという不具合が発生する場合がありますでしたが、エラー処理を強化することで、不具合が発生する頻度を低減いたしました。

データ取得ロジックの抜本的な改定につきましては、今回は見送りましたが、次回改定時に対応したいと考えます。

現行マクロは処理速度面で課題がありますが、今しばらくご辛抱いただきますようお願い申し上げます。

以上、ご不明な点等ございましたら、お問い合わせページよりお問い合わせください。また、ご意見、ご感想、不具合情報等ございましたら、ご連絡いただけますと幸いです。